

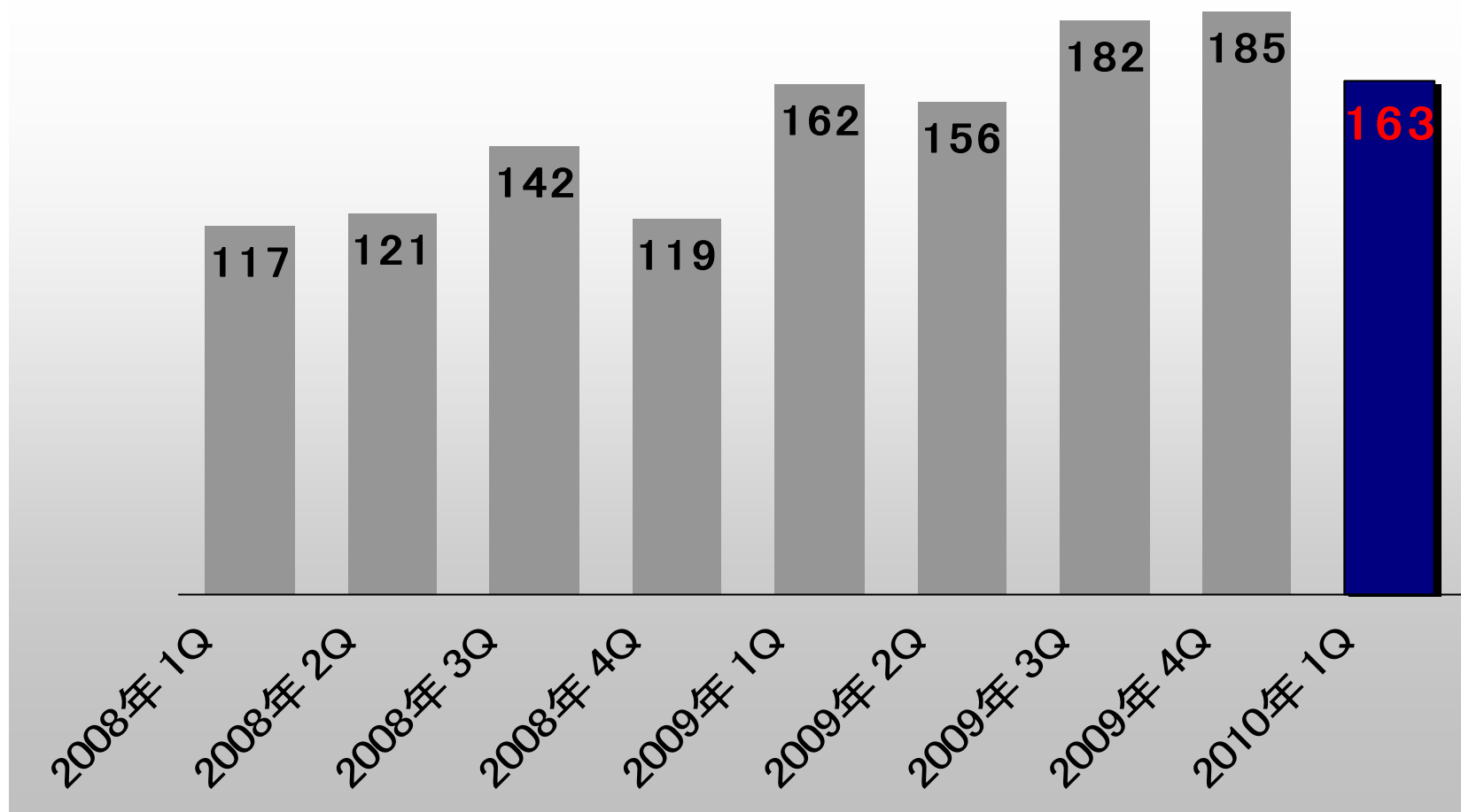
# 平成22年12月期 第1四半期決算のご報告

カルナバイオサイエンス株式会社



## (四半期別売上高の推移)

(百万円)



四半期別売上高(2008年12月期～2010年12月期第1四半期)※

※2008年12月期第1四半期は単独、2008年12月期2四半期以降は連結

## 売上高163百万円(第1四半期連結会計期間)

### ■創薬支援事業(156百万円)

- ・プロファイリング・サービス及びアッセイキットに関する売上が計画通り、キナーゼタンパク質は計画を下回って推移
- ・リード探索サービスに係る売上が計画を上回って計上

### ■創薬事業(6百万円)

- ・共同研究の進捗に伴う収入を計画通り計上

### ■損益(営業損益△93百万円)

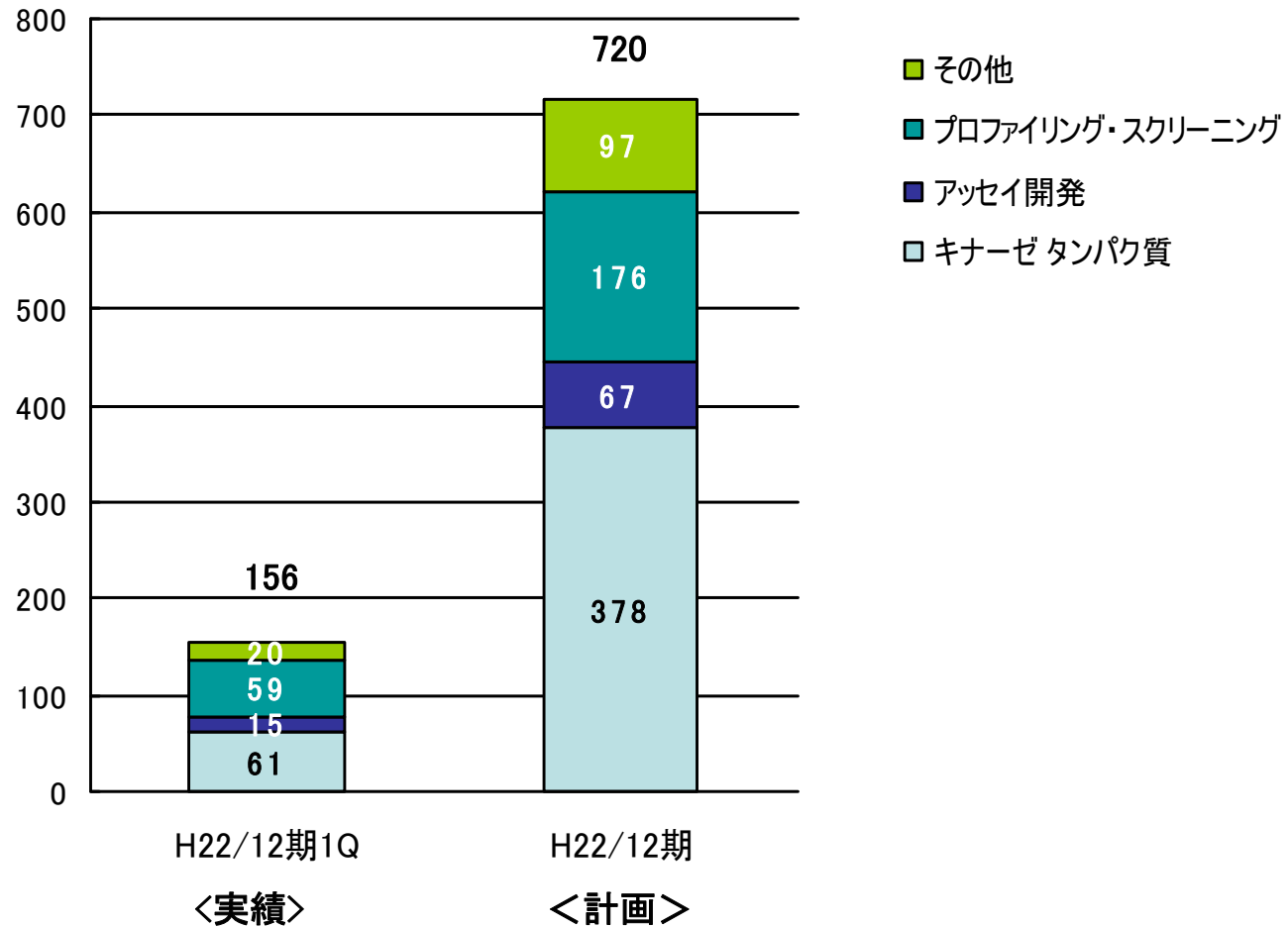
- ・業務の効率化及び諸経費の節減等により販管費圧縮
- ・研究の効率化及び外注の執行時期の変更等により研究開発費抑制

# 第1四半期 (2010年1月～3月)業績の概況

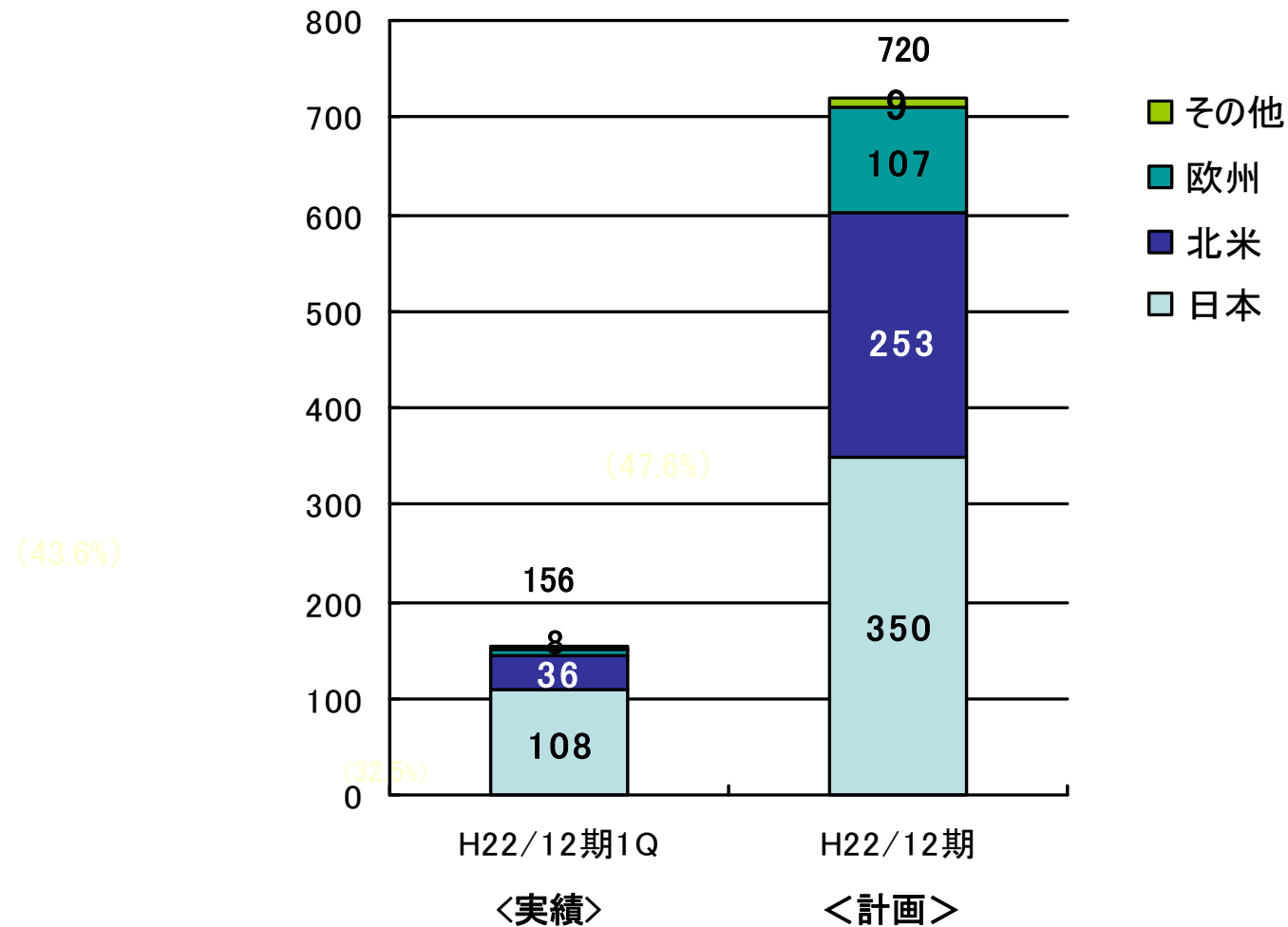
(百万円)

		2010年12月期 1Q(1月～3月)	2009年12月期 1Q(1月～3月)／増減額		2010年12月期 通期計画	通期計画に 対する達成率
売上	創薬支援事業	156	162	△6	720	21.7%
	創薬事業	6	0	6	120	5.6%
	合計	163	162	0	840	19.4%
売上原価		62	52	10		
売上総利益		100	110	△10		
販管費	研究開発費	86	87	△1		
	販管費(研究開発費を除く)	107	106	1		
	合計	194	194	0		
営業損失		△93	△83	△10	△321	—
営業外損益		0	4	△4		
経常損失		△93	△79	△14	△294	—
特別損益		△1	△3	2		
当期純損失		△95	△82	△13	△304	—

(百万円)



(百万円)



(百万円)

		2010年1Q末	2009年12月末	増減額
流	動 資 産	1,726	1,760	△33
	現金及び預金	1,153	1,290	△137
※	有 価 証 券	300	200	100
	そ の 他	273	269	3
固	定 資 産	276	283	△6
資	産 合 計	2,003	2,043	△40
負	債 合 計	300	242	57
純	資 産 合 計	1,703	1,801	△97
負	債・純資産合計	2,003	2,043	△40

※有価証券は、リスクの極めて低い運用商品です

第1四半期では、CrystalGenomics, Inc.(韓国)との共同研究(SYKキナーゼ)から得られた前臨床候補化合物について引き続きステージアップを目指した検討を行なっております。

一方、大腸がん治療薬を目指したTNIK阻害薬研究(国立がん研究センターとの共同研究)は、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の研究成果最適展開支援事業(A-STEP)の支援を受けて研究を行っていましたが、この度、独立行政法人 医薬基盤研究所の運営する「保健医療分野における基礎研究推進事業」の平成22年度新規プロジェクトとして新たに採択されました。

その他の3テーマ(DYRK1A、CDC7/ASK及び科研製薬との共同研究キナーゼ)に関しましても引き続き最適化研究を行っており、当社グループが保有する強力なキナーゼ創薬基盤技術を最大限に活用して、安全で効果の高いキナーゼ阻害薬の創出を目指してまいります。

ステージアップ	探索⇒前臨床(又は導出)		1
研究テーマ数		5	5
		平成22年12月期 第1四半期	平成22年12月期 通期計画





# 2010年～2012年12月期 中期事業計画 (マイルストーン開示)

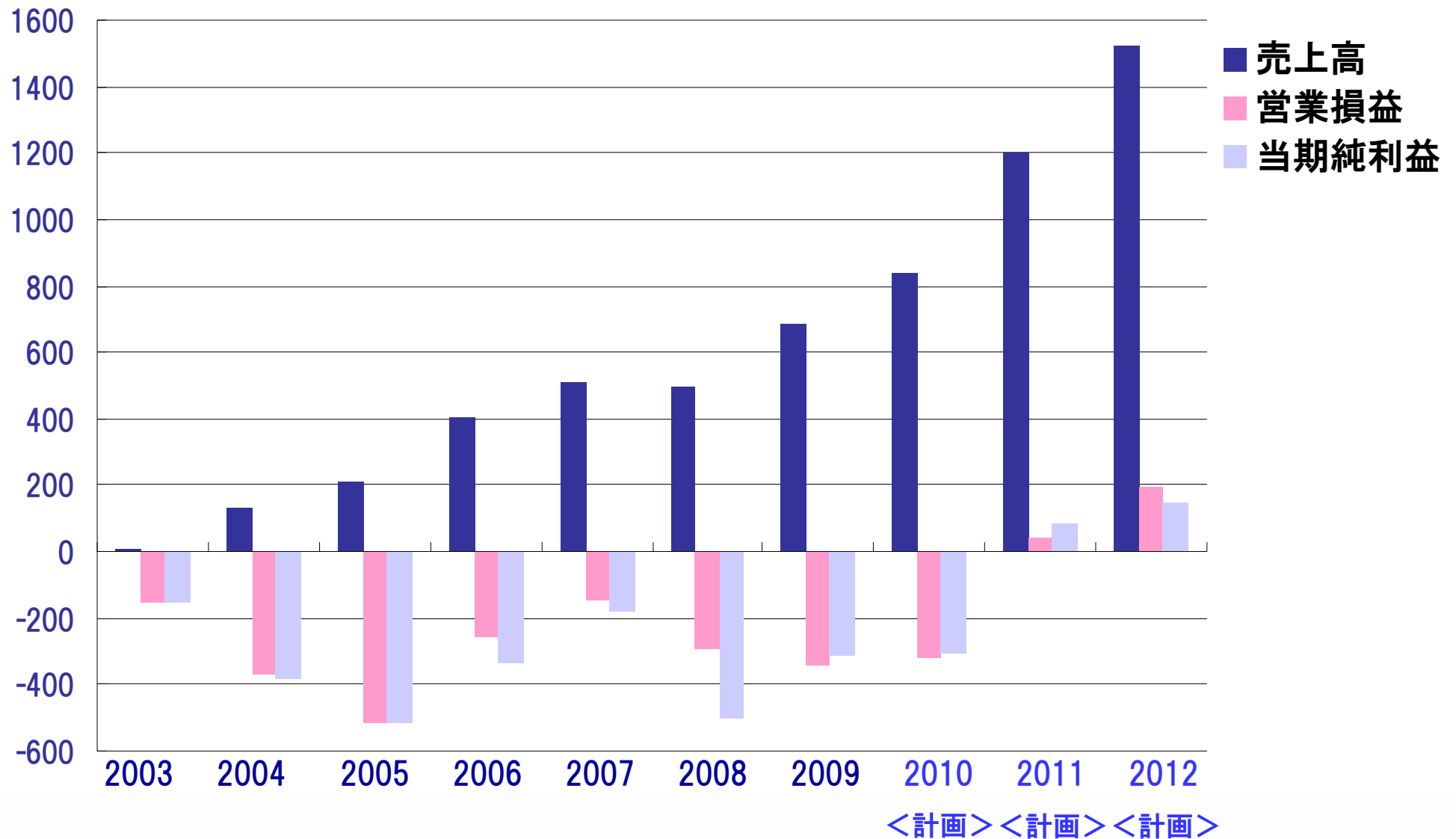
# 2010年～2012年 中期事業計画(連結)

(単位:百万円)

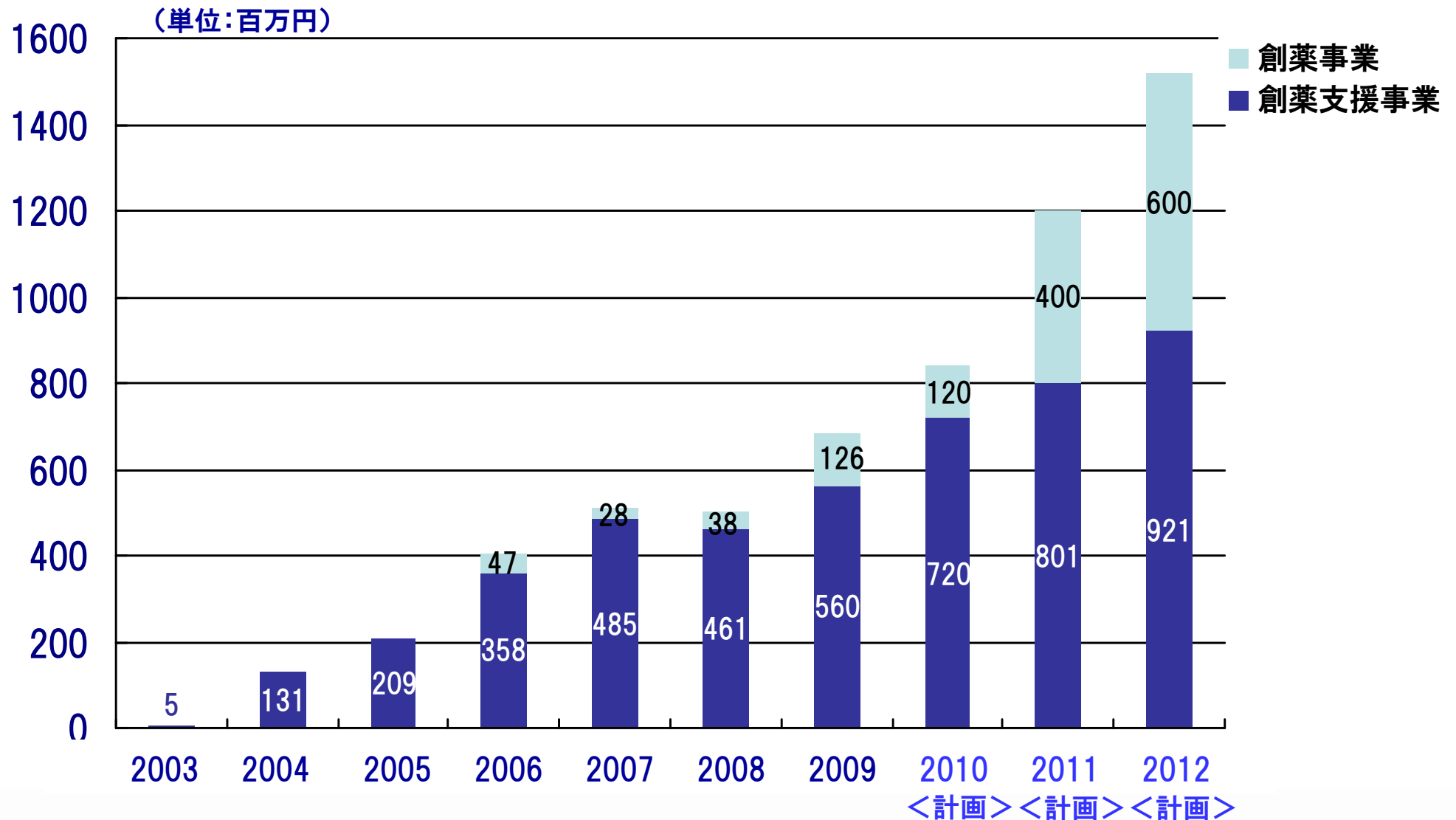
	2009 (実績)	2010 (計画)	2011 (計画)	2012 (計画)
創薬支援売上	560	720	801	921
創薬売上	126	120	400	600
売上合計	687	840	1,201	1,521
研究開発費	391	408	411	546
販管費 <small>(研開発費を徐く)</small>	424	489	500	510
営業利益	△344	△321	41	195
経常利益	△349	△294	87	192
当期利益	△315	△304	81	144

# 営業損益予測(中期、連結)

(単位:百万円)



# 事業別売上高予測(中期、連結)



## 2010年売上目標： 120百万円

- 共同研究からの収入
- ヒット、リード化合物の早期導出
- パイプライン化合物の早期導出
- リサーチファンドの獲得

## 2011年売上目標： 400百万円

- ヒット、リード化合物の早期導出
- パイプライン化合物の早期導出
- リサーチファンドの獲得

## 2012年売上目標： 600百万円

- 大型導出  
(既存パイプラインを前臨床試験終了段階で導出する)

今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

Tel (078)302-7075 Fax (078)302-6665

<http://www.carnabio.com/japanese/>

[ir-team@carnabio.com](mailto:ir-team@carnabio.com)

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。